

# 1人1台端末を活かしたICTの効果的な活用

～魅力ある学校づくりのために～

新ひだか町立静内小学校 学級数11 (校長 玉手 広昭)

## I 実践テーマの趣旨

本校では、令和2年12月に児童用の1人1台端末が導入され、令和2年度末から活用方法を模索し、教師と児童がICT端末に慣れ、学習に組織的に活用できるよう取り組んできた。令和3年度からは家庭学習での積極的活用と、オンライン授業に対応するために家庭への端末の持ち帰りをを行い、併せて授業における様々な場面で端末を活用し、効果的な学習と効率的な支援を目指した。

## II 実践の概要

### 1 端末持ち帰りの推進

週末と夏季休業中は端末を家庭に持ち帰り、家庭学習で活用した。また、新ひだか町教育委員会が設定した「セキュリティ対策」、「タブレット活用のルール」を、保護者へ周知し、トラブル等の防止に努めた。

### 2 「学習支援ソフト」の積極的な活用

「学習支援ソフト」を活用し、Web上で自作プリントやフリーテキスト等の課題を児童に提示し、回収、採点・確認し、児童に送り返すことで、家庭学習や通常の授業で、個別の支援を行った。家庭学習をWeb上で行うことで、課題の進捗や採点状況など、児童の学習状況の把握が容易になった。また、既習事項の定着が図られているかなど、授業改善の材料としても役立てた。

### 3 夏季休業期間中のオンライン学級会の実施

臨時休業等で、オンライン授業に備える試みとして、夏季休業中の児童の様子を把握するため、オンライン学級会を実施した。各学級が工夫を凝らし、児童の様子を把握するとともに、各家庭の接続状態について、確認することができた。

### 4 行事（学習発表会等）に向けた活用

コロナ禍で、鍵盤ハーモニカの取り扱いに配慮する必要があったため、ICT端末を活用したアプリを用いて、運指や演奏の練習を行った。実際の鍵盤をタッチする感覚とは異なるという課題はあるが、音の出ない鍵盤を押すことに比べ、子どもたちは意欲的に取り組むことができていた。

### 5 その他（職員による活用）

#### (1) 校内研究授業の遠隔視聴

授業の様子をライブ配信し、別室で参観した。今後の授業参観方法の一つとして活用することができる。

#### (2) ICT機器を使った研修

校内研修において、教師用のICT端末を活用し、バズセッション方式で協議を進めることができた。

#### (3) Webによる教育活動等におけるアンケートの実施

スマートフォンでも回答できるため回収率の向上が期待でき、自動集計による業務改善にもつながると考える。

#### (4) 日報の活用

職員打合わせは、Web上で「日報」を全職員が閲覧する方式とし、確実かつ効率的に連絡・確認を行った。



【学習ソフトに取り組む児童】



【低学年の活動の様子】

## III 成果と課題（○成果 ●課題）

○ ICT端末の家庭への持ち帰りを推進することで、教師も児童も端末に適応し、効率的に活用することができた。また、「働き方改革」の観点から、業務の効率化や簡素化につながった。

● 児童・保護者及び教職員にとって、魅力ある学校づくりを進めていく上で、ICT端末は使うことが目的ではなく、何のためにどう使うかという視点が大切であると考えことから、今も変わらない教育の本質的な部分と、ICT端末を活用した先進的な部分を整理し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指して取り組む必要がある。